

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2012年12月)
 ~個人消費は下げ止まり~

発表日2013年1月30日(水)

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 主席エコノミスト 新家 義貴
 TEL : 03-5221-4528

(単位: %)

	商業販売額												コンビニ販売額	
	卸売業		小売業		大型小売店			百貨店	スーパー	前年比	既存店 前年比			
	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店 前年比	既存店 前年比					
11	1月	3.3	4.0	4.6	3.7	0.1	3.6	1.5	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 0.5	7.1	4.5	
	2月	5.3	0.8	7.2	1.1	0.1	2.1	3.2	0.5	0.6	0.5	8.5	5.9	
	3月	▲ 1.3	▲ 9.3	1.2	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 8.1	▲ 4.5	▲ 7.4	▲ 15.0	▲ 2.9	9.1	7.2	
	4月	▲ 2.6	3.6	▲ 1.7	3.1	▲ 4.8	3.6	1.1	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 1.9	3.0	1.0	
	5月	1.3	0.7	2.3	0.0	▲ 1.3	2.9	0.8	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.4	7.3	5.1	
	6月	3.1	1.4	3.8	1.3	1.2	2.5	2.5	▲ 0.5	0.1	▲ 0.8	10.9	8.3	
	7月	2.3	▲ 0.2	3.0	▲ 0.2	0.6	▲ 1.2	1.8	0.8	▲ 0.4	1.5	11.4	8.9	
	8月	3.1	▲ 0.9	5.2	▲ 0.6	▲ 2.6	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 2.1	▲ 2.9	9.1	6.6	
	9月	0.3	▲ 1.5	0.8	▲ 1.9	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 3.6	▲ 2.8	▲ 4.0	▲ 1.8	▲ 4.1	
	10月	1.1	0.7	0.8	0.4	1.9	0.7	▲ 0.5	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 1.7	16.4	13.5	
	11月	▲ 2.3	▲ 0.9	▲ 2.4	▲ 0.5	▲ 2.2	▲ 1.3	▲ 1.6	▲ 2.5	▲ 2.2	▲ 2.7	10.5	7.3	
	12月	▲ 0.8	1.8	▲ 2.0	1.7	2.5	0.7	0.6	▲ 0.3	0.7	▲ 0.9	7.4	4.0	
12	1月	▲ 2.0	2.1	▲ 3.5	1.2	1.8	3.1	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.2	4.9	1.6	
	2月	▲ 0.1	1.3	▲ 1.3	2.2	3.4	2.0	1.3	0.2	▲ 0.5	0.6	8.8	4.4	
	3月	2.9	▲ 4.3	0.5	▲ 4.9	10.3	▲ 1.2	6.1	5.1	14.2	0.5	4.4	0.3	
	4月	1.7	1.7	0.3	1.9	5.7	▲ 0.4	0.1	▲ 0.6	1.5	▲ 1.6	10.3	6.2	
	5月	2.5	0.2	2.1	0.1	3.6	0.7	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.7	6.0	1.7	
	6月	▲ 2.8	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 2.0	0.2	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 3.3	1.5	▲ 2.7	
	7月	▲ 3.1	▲ 1.9	▲ 4.0	▲ 2.5	▲ 0.7	▲ 1.5	▲ 4.0	▲ 4.4	▲ 3.3	▲ 5.0	1.0	▲ 3.4	
	8月	▲ 2.6	0.3	▲ 4.2	0.4	1.7	1.5	▲ 0.0	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.9	3.1	▲ 1.4	
	9月	▲ 3.6	▲ 1.5	▲ 4.9	▲ 1.2	0.4	▲ 3.5	▲ 0.2	▲ 1.0	0.0	▲ 1.5	2.7	▲ 1.7	
	10月	▲ 1.4	0.5	▲ 1.5	0.2	▲ 1.2	0.8	▲ 2.4	▲ 3.2	▲ 2.2	▲ 3.7	2.2	▲ 2.0	
	11月	▲ 0.8	0.6	▲ 1.5	0.9	1.2	▲ 0.1	1.6	0.9	2.5	▲ 0.1	1.9	▲ 2.6	
	12月	▲ 1.7	2.3	▲ 2.5	2.6	0.4	0.1	0.7	0.0	▲ 1.0	0.7	3.0	▲ 2.0	

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○ 2ヶ月連続でほぼ横ばい。個人消費は下げ止まり

経済産業省から公表された12年12月の小売業販売額は前年比+0.4%と、ほぼ市場予想(+0.5%、当社予想: +0.8%)通りの結果だった。季節調整済み前月比では+0.1%と、11月(▲0.1%)に続いてほぼ横ばいである。個人消費は夏場に悪化した。足元では下げ止まっていると判断される。これまで消費を大きく押し下げてきた自動車販売において下げ止まりの動きが出ており、消費が悪化を続けるという状況からは脱しているようだ。

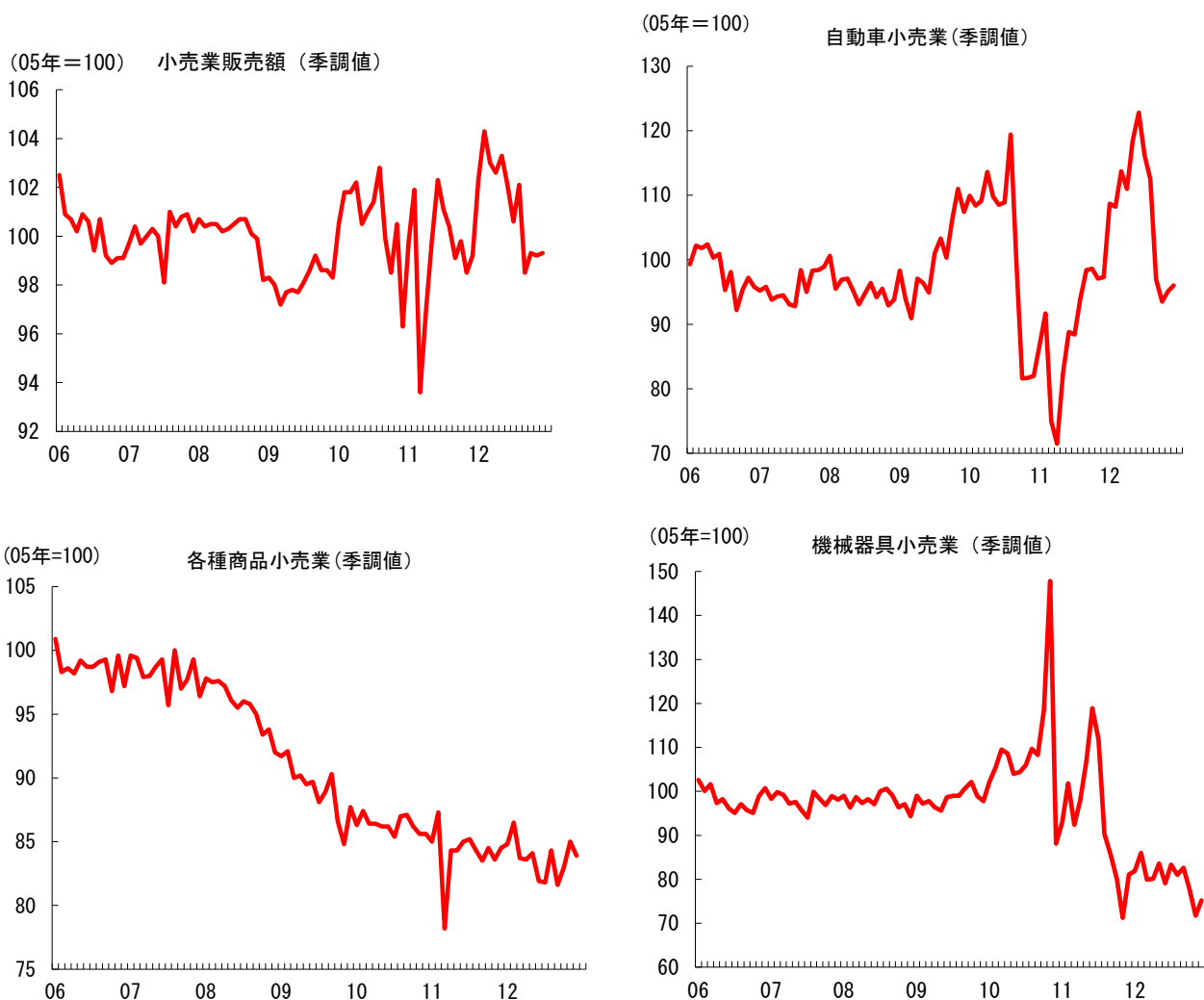
業態別ではまちまちな動きとなっている。百貨店等を含む各種商品小売業(前月比▲1.3%)と織物・衣服・身の回り品小売業(同▲4.8%)はともに減少したが、これは11月に気温が急低下した影響で冬物重衣料の販売が大幅に伸びた反動の面が大きい。10-12月期で均せば、各種商品小売業が前期比+1.7%、織物・衣服・身の回り品小売業が同+1.8%と好調だ。また、自動車販売小売業は前月比+0.9%と、11月の+1.7%に続いて増加した。10-12月期という四半期では前期比▲12.6%と大幅減だが、月次で見れば水準は低いながらも下げ止まっている。乗用車販売台数はエコカー補助金効果の剥落・駆け込みの反動から販売が急減していたが、反動減は収束に向かいつつある。その他、機械器具小売業は前月比+4.9%と増加したが、10、11月に大きく減少した反動に過ぎない。10-12月期では前期比▲9.0%であり、家電販売の低迷が続いている。また、その他小売業は前月比+1.6%と増加したが、これは石油製品価格上昇の要因が大きいと思われる。

このように、12月の小売業販売は、好調だった11月の反動から衣料品販売がやや落ち込んだが、自動車販売が下げ止まったことで、全体としては横ばい圏の推移となった。

○ 先行きは緩やかに回復か

12年10-12月期の小売業販売額は、自動車販売小売業の（四半期での）落ち込みが響く形で、前期比▲1.1%と減少している。ただし、GDPベースの10-12月期個人消費は、需要側の統計である家計調査が10、11月に比較的好調だったこともあり、前期比でプラスになる可能性が高いと予想される。自動車販売台数の前期比での落ち込みを、気温の低下による季節商材の売上げ好調が補う形になった模様だ。以前は、自動車販売の悪化や冬のボーナス減少を背景として10-12月期の個人消費は7-9月期に続いて減少するとの見方が多かったが、予想外の健闘を見せている。

雇用・賃金の冴えない推移が続いており、消費が今後明確に増加に転じるかという点については疑問符が付く。だが少なくとも、これまでのように個人消費の悪化が景気の足を引っ張るということはないだろう。株価の上昇や景況感の改善に伴って消費者心理の好転が期待できることも、消費の下支えになるだろう。個人消費は先行き、緩やかながら増加していくと予想している。



(出所) 経済産業省「商業販売統計」